

ボーリング柱状図

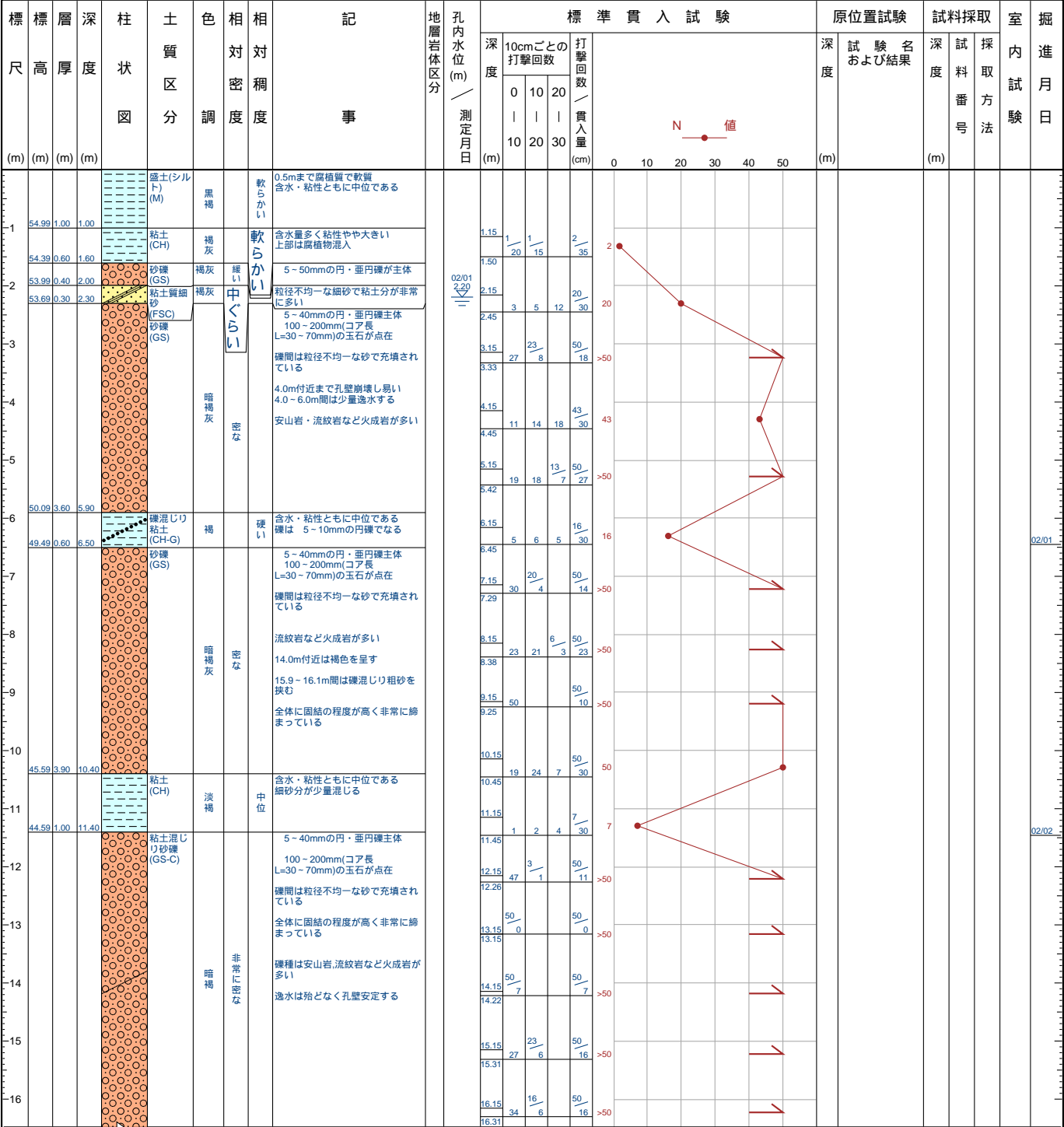
調査名



事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	No.4 (五分一堰-右岸)	調査位置					北緯	36° 24' 44.0000"			
発注機関	栃木県宇都宮土木事務所 河川砂防部				調査期間	2008-02-01 ~ 2008-02-04		東経	139° 54' 01.0000"		
調査業者名	主任技師				現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	55.99 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	エンジン	ハンマー 落下用具	ポンプ
総掘進長	17.05 m										



17	38.94	5.65	17.05		粘土混じり砂礫 (GS-C)	暗褐	非常に密な	5～40mmの円・垂円礫主体	16.15	34	6	16	>50		02/04
								100～200mm(コア長	16.31	50	0	50	>50		
								L=30～70mm)の玉石が点在	17.05	0	0				
								隙間は粒径不均一な砂で充填されている	17.05						
全体に固結の程度が高く非常に締まっている															
礫種は安山岩、流紋岩など火成岩が多い															
逸水は殆どなく孔壁安定する															